

## 24. 東京慈恵会医科大学医学部（私立） The Jikei University School of Medicine

<http://www.jikei.ac.jp>

〒105-8461 東京都港区西新橋3-25-8

電話03-3433-1111(代)

FAX03-3431-6476

教養課程

〒182-8570 東京都調布市国領町8-3-1

電話03-3480-1151(代)

FAX03-3480-4591

専門・教養課程所在地間の最寄交通機関による所要時間 約60分

### 1. カリキュラム全般について

A. 一般教育（教養）と専門教育との関係：

- 1) 学則上は一般教育（教養）と専門教育とを区別せず、6年一貫教育である。
- 2) 一般教育（教養）の学習は1年生のみで行われる。
- 3) 専門教育（準備教育は除く）の学習は2年生から開始する。

B. 教授会は一般教育（教養）と専門教育とで常に合同で開催される。

C. 学生や教員や地域住民などに対し、医学部・医科大学としての一般目標や理念が印刷物や看板・ホームページなどのメディアで示されている。

D. 学生や教員が学習内容を予め知ることができるように、授業科目の学習目標（一般目標や行動目標）、授業内容、担当者などを印刷物（シラバス）ですべて示してあり、その印刷物を講義予定表および実習概要という。

E. 4年生大学既卒者（学士編入生）は卒業学部にかかわらず、すべて1年生に入学する。

F. 1年生の入学時オリエンテーションは2日間行うが合宿ではない。

G. Early Exposure（医学教育の早い時期に医学・医療の場に接し動機づけを試みる教育）を行っている学年は1、2、3、4年生である。

その期間と内容：

1年生：9日間：ECE（1日）、福祉体験実習（5日）、病院見学実習（3日）

2年生：5日間：重度心身障害・難病医療体験実習

3年生：5日間：在宅ケア実習

4年生：5日間：病院業務実習

H. PBL/チュートリアル（小グループで行う問題解決型学習）が導入されている。コアタイムの時間は

3年生は、平均して週3時間×年間13回である。

4年生は、平均して週3時間×年間19回である。

自習用に割り当てられている時間は

3年生は、平均して週3時間×年間7回である。

チューターは主として基礎医学系と臨床医学系の教員が行う。

チューター養成のためのトレーニングプログラムや講習会などが行われている。

I. 細胞・組織レベル、ないしは臓器系統別の統合カリキュラムをすべてにわたり採用している。

J. 平成17年以降、大幅なカリキュラム改訂は、行われていない。なお、現行カリキュラムの特色は下記のとおりである。

1. 6年一貫教育カリキュラム
2. カリキュラムは「総合教育」、「生命の科学」、「研究」、「医療（診療）の実地」を基本として編成している。
3. 統合型カリキュラムである。
4. 複数のコースで編成し、コースはユニットに細分化している。
5. コースの単位を認定する評価の一つに総合試験がある。

K. 今後のカリキュラム改訂は平成20年を目途に予定している。そのねらいは下記のとおりである。

1. 臨床実習の延長（5年次36週から40週に）
2. モデル・コア・カリキュラム「基本事項」に対応する教育内容の改善・拡充
3. 前臨床実習（学外実習、病院見学等）の拡充
4. プライマリケア・選択学外臨床実習および産業医実習の開設
5. CPCの履修の前倒し

L. 現在学内で、医学教育について検討されている事項は下記の点である。

1. 現行の6年一貫統合型カリキュラムの包括的な自己点検・評価
2. 臨床医学教育の再構築
3. 卒前・卒後教育の役割分担と連携
4. モデル・コア・カリキュラム「基本事項」に対応する教育内容の見直し
5. FD活動の充実

## 2. 選択制について

専門教科について選択制を採用している

専門教科で選択制としている教科は下記のとおりである。

- 2年：重度心身障害・難病医療体験実習
- 3年：研究室配属
- 4年、5年、6年：プライマリケア・産業医実習
- 6年：選択実習、選択ゼミ

## 3. 一般教育（教養）について

A. 医学部医学科以外の学部や学科のある大学に伺います。

一般教育（教養）の授業は他学部（他学科）の学生と一部が一緒である。

B. 他大学との単位互換について認めている。

C. 医学部のみの大学に伺います。

一般教育（教養）の教員の所属はほとんどが他大学や他機関の所属で自大学は非常勤である。

D. 一般教育（教養）部門では一部が選択科目で、それは一般教育（教養）の約30%である。

E. 平成19年新入生で、高等学校などで「生物」を履修していない学生の数は調査していないのでわからない。「生物」を履修しなかった学生に対して特別に対応してはいない。

F. 平成19年新入生にはセンター試験が導入されてはいない。

## 4. 基礎医学教室ないしは社会医学教室（研究室）配属について

A. 学生が一時期、基礎医学教室ないしは社会医学教室（研究室）に配属されるシステムがあり、全員が3年生の時に平均して1週35時間×3週間配属される。

## 5. 臨床実習（外来実習、BSL、クリニカル・クラークシップを含む）について

- A. 臨床実習前に、まとまった形で医療面接・診察技法（例：臨床実習入門など）の学習を行っている。（5日間）  
身体診察の学習に医師や学生以外の標準模擬患者（SP）を導入してはいない。
- B. 臨床実習の実施学年とその期間は（早朝や時間外は省略）  
5年の時、1週35時間で、36週間である。  
6年の時、1週35時間で、15週間である。
- C. 臨床実習科目は全科目を必修としている。
- D. 大学の附属病院以外の施設（国・公・私立病院や保健所・老健施設などでの実習、国内外を問わない）で臨床実習を行っている。  
その期間は全部で15週で、6年生の選択実習期間、そこで行う実習科目は（学生が希望する実習科）である。  
この大学外の実習の場合の交通費は学生が自分で支払う。
- E. クリニカルクラークシップは臨床実習を行うすべての科で導入している（6年次）。  
内科や外科などの主な臨床実習実施科で導入している（5年次）。
- F. 臨床実習のための手引書は印刷物として配布されていて、それにはスケジュール、到達目標、医行為の範囲、評価法が記載されている。
- G. 臨床実習の評価として  
各診療科ごとの評価基準があらかじめ学生に示されている。  
学習終了後に基本的臨床能力試験（OSCE）を行っている。  
臨床実習の評価結果は合否（進級）の判定（総括評価）に用いられる。  
そして不合格になれば、再び全科の臨床実習を行う。
- H. 臨床実習中の学生の安全管理対策については  
事前に学習枠を設けて学習している。  
保険制度に加入している。  
ワクチン接種を行っている。

## 6. 学生の海外における実習について

- A. 学生の海外における実習は基礎医学実習と臨床実習の両方を行う機会がある。  
期間は最長 基礎医学実習は15週  
臨床実習は15週である。

## 7. 評価について

- A. 進級判定が行われるのは1年終了時、2年終了時、3年終了時、4年終了時、5年終了時である。
- B. 成績の記録法は点数・合否・段階などの混合による方法を採用している。
- C. 卒業判定のための試験は行われていて、それは総合的な試験である。  
時期は10月から11月まで、期間は6週間（長期休暇期間を除く）である。
- D. 6年生の10月以降には、大学による国家試験対策のための特別な講義が行われることはない。
- E. 卒前教育に携わっている教員に対し、教育業績の評価が行われ、その評価を行うのは、所属長、学生、自己である。  
自己評価以外の評価結果は本人にフィードバックされる。  
その評価結果は昇進などに関係する。
- F. 過去2年間に、卒前教育全体に対する第三者評価が行われたことはない。

8. 教員について（医学部・医学科および大学院学生の教育を担当する教員）

A. 教員数（平成19年12月現在）

		教 養*	基 礎**	臨床***	附属研究施設	その他	合 計
常勤 (有給専任)	教 授	6	17	70	10	1	104
	准教授	5	11	86	11	0	113
	講 師	3	21	146	10	0	180
	助 教	0	24	729	14	0	767
	その他						0
	合 計	14	73	1031	45	1	1164

非常勤 (客員・無給を含む)	教 授	0	7	40	2	56	105
	准教授	0	2	68	0	0	70
	講 師	40	24	213	5	1	283
	助 教	0	6	490	1	0	497
	その他						0
	合 計	40	39	811	8	57	955

\* 教養の常勤者は医学部所属者のみに限る。総合大学で医学部所属者がいない場合は空欄とする。

\*\* 基礎は社会医学を含む。

\*\*\* 臨床は附属病院・分院を含む。

B. 常勤の教員の任期制の制度を取り入れている。

C. 教員や臨床実習時の指導医の医療事故に対する対応策については、取り決められていて、何らかの保険制度に、任意で加入している。

9. 学生数（平成19年12月現在）

学 年	総 数		うち学士編入者数	うち今年度留年者数 (今年度のみ)	うち休学者数	うち外国人留学生	
		うち 女子 人数					うち 女子 人数
1	103	21	0	1	0	0	0
2	98	20	0	1	0	0	0
3	105	38	0	4	0	0	0
4	105	34	0	6	0	0	0
5	104	37	0	2	1	0	0
6	100	27	0	0	0	0	0
合計	615	177	0	14	1	0	0

10. 平成19年4月（今年）の医学部受験状況（編入は含まず、1年生のみ）

受験者数2,107名、合格者数142名、倍率14.8倍

入学者数102名、(定員100名、うち推薦入学者数0名)

入学者の状況： 現役28名、1浪47名、2浪18名、その他9名、

定員外に別試験で入学した外国人学生0名、

センター試験を導入していない

12. 平成18年4月（昨年）の医学部受験状況（編入は含まず、1年生のみ）

受験者数3,214名、合格者数122名、倍率26.4倍

入学者数100名、（定員100名、うち推薦入学者数0名）

入学者の状況：現役31名、1浪44名、2浪19名、その他6名、

定員外に別試験で入学した外国人学生0名、

センター試験を導入していない

13. 平成18年（昨年）の1年生以外の編入学状況

B. 編入学者地域わくについて

地域わくは無い

今後どのように考えていますか。

現時点で予定はない。

14. 授業時間配分

(1) 学期区分

学 年	学期制なし	学期制あり		総時間数		
		2学期制	3学期制	講義	実習	PBL/ チュートリアル
1		○		556.5	227	
2	○			450	371.6	
3	○			505.5	242	79.5
4	○			602	262	78
5	○			7	1260	
6	○			69	525	

（アーリーエクスポージャーは実習時間数に含める。）

(2) 土曜日の授業（講義または実習）は全学年ない

(3) 時間配分の概略図（授業区分のブロック図）

新カリキュラム（総合）

1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
		A			
	B		C		
	C				
D	F	H	I	J	K
E		G			
			H		L
					J

(註) A：医学総論

B：外国語

C：臨床疫学

D：総合教育

E：生命基礎医学

F：基礎医学

G：臨床基礎医学

H：社会医学

I：研究室配属

J：臨床医学

K：臨床実習

L：選択実習

15. 医学専門教育（専門課程）の教科別授業時間数

授業科目名	講義時間数	実習時間数	合計時間数
A) 医学総論			
医学総論Ⅱ 演習	21		21
前臨床実習Ⅱ－重度心身障害・難病医療体験実習		35	35
医学総論Ⅲ 演習（osce含む）	28.5		28.5
前臨床実習Ⅲ－在宅ケア実習－		35	35
医学総論Ⅳ 演習－医師・患者関係と面接	22.5		22.5
前臨床実習Ⅳ－病院業務実習－		35	35
プライマリーケア・産業医実習			選択
A) の合計	72	105	177
B) 基礎医科学			
オリエンテーション	4.5		4.5
自然と生命の理	39		39
自然と生命の理演習	18		18
自然と生命の理実習		27.6	27.6
分子から生命へ	37.5		37.5
分子から生命へ演習	21		21
分子から生命へ実習		35	35
細胞から個体へ	39		39
細胞から個体へ実習		52	52
生体調節のしくみ	19.5		19.5
生体と薬物	15		15
血液・造血系	12		12
循環器系	18		18
呼吸器系	13.5		13.5
消化吸収系	13.5		13.5
泌尿器系	10.5		10.5
生殖器系	12		12
感覚器系	15		15
神経系	27		27
内分泌系	12		12
ヒトの発生	19.5		19.5
形態系実習		180	180
機能系実習		42	42
B) の合計	346.5	336.6	683.1
C) 臨床疫学			
医学統計学Ⅰ 演習	18		18
医学統計学Ⅱ 演習	24		24
Evidence-based Medicine	21		21
C) の合計	63		63

授業科目名	講義時間数	実習時間数	合計時間数
D) 臨床基礎医学			
オリエンテーション	3		3
病因・病態学総論	15		15
炎症学	12		12
腫瘍学	19.5		19.5
代謝障害学	12		12
ヒトの時間生物学	37.5		37.5
栄養科学	9		9
創傷学	21		21
行動科学	31.5		31.5
中毒学	9		9
放射線基礎医学	12		12
病理学総論実習		42	42
症候学演習	52.5		52.5
生体と微生物	21		21
感染と生体防御・免疫	22.5		22.5
感染症総論（国際感染症）	12		12
細菌・真菌と感染（リケッチャ・クラミジア含む）	27		27
ウイルスと感染	24		24
寄生虫と感染	27		27
臨床免疫学・膠原病（移植免疫・輸血含む）	15		15
細菌学実習		15	15
ウィルス学実習		15	15
寄生虫学実習		15	15
免疫学実習		15	15
感染・免疫テュートリアル	27		27
D) の合計	409.5	102	511.5
E) 社会医学			
オリエンテーション	1.5		1.5
環境衛生	18		18
地域保健	6		6
保健統計	6		6
疫学	19.5		19.5
法医学	21		21
社会福祉・社会保障	6		6
食品衛生	4.5		4.5
産業衛生	13.5		13.5
医療法規	4.5		4.5
医療事故・突然死・死体検案	15		15
社会医学 I 演習	15		15
E) の合計	130.5		130.5
F) 研究室配属			
オリエンテーション	1.5		1.5
研究室配属		105	105
F) の合計	1.5	105	106.5

授業科目名	講義時間数	実習時間数	合計時間数
G) 臨床医学 I			
オリエンテーション	1.5		1.5
外科学入門 (形成再建医学概論・臓器移植・輸血医学を含む)	15		15
循環器 (末梢血管・リンパ管の外科含む)	33		33
呼吸器	27		27
消化管	27		27
肝・胆・膵	27		27
腎・泌尿器	27		27
生殖・産婦人科 (男性不妊症・出生前医学を含む)	34.5		34.5
形成再建医学	9		9
血液・造血器	25.5		25.5
内分泌・代謝・栄養	27		27
救急医学 (中毒の治療)	3		3
神経	33		33
皮膚	18		18
眼	21		21
耳鼻咽喉・口腔 (顔面・形成再建医学領域1コマ含む)	21		21
運動器 (関節リウマチを含む)	21		21
精神医学	21		21
小児医学 (小児外科を含む)	33		33
放射線医学	13.5		13.5
麻酔蘇生医学	9		9
リハビリテーション医学	9		9
薬物治療学	6		6
臨床医学演習 (チュートリアル)	78		78
病理学各論実習		84	84
診断系実習		36	36
検査系実習		36	36
治療系実習		36	36
臨床実習入門	35		35
G) の合計	575	192	767
H) 臨床実習			
オリエンテーション	7		7
臨床実習内科		413	413
外科		133	133
臨床実習小児科		105	105
家庭医実習		21	21
臨床実習精神科		70	70
臨床実習産婦人科		70	70
臨床実習放射線医学		35	35
臨床実習内視鏡		7	7
臨床実習臨床検査医学/臨床実習感染症学		7	7
臨床実習皮膚科		35	35
臨床実習整形外科		49	49
臨床実習リハビリテーション医学		35	35
臨床実習脳神経外科		35	35
臨床実習形成外科		35	35
臨床実習心臓外科		35	35
臨床実習耳鼻咽喉科		35	35
臨床実習泌尿器科		35	35
臨床実習眼科		35	35
臨床実習麻酔科		35	35
臨床実習救急医学		35	35
選択実習		525	525
H) の合計	7	1785	1792



授業科目名	講義時間数	実習時間数	合計時間数
I) 臨床医学Ⅲ			
オリエンテーション	3		3
救急医学	21		21
薬物治療学	6		6
病理示説	16.5		16.5
症例演習 (case study)	22.5		22.5
I) の合計	69		69
J) その他			
外国語オリエンテーション	1.5		1.5
一般英語Ⅱ	64.5		64.5
医学実用英語Ⅰ	16.5		16.5
医学英語専門文献抄読Ⅰ	16.5		16.5
医学実用英語Ⅱ	18		18
J) の合計	117		117
臨床医学の合計 (G + H + I)	651	1977	2628
基礎医学・社会医学・その他の合計 (A+B+C+D+E+F+J)	1140	648.6	1788.6
合計 (A ~ J)	1791	2625.6	4416.6

各学年における講義時間数、実習時間数について

	講義時間数	実習時間数	合計時間数
1 学年	556.5	227	783.5
2 学年	450	371.6	821.6
3 学年	585	242	827
4 学年	680	262	942
5 学年	7	1260	1267
6 学年	69	525	594
合計	2347.5	2887.6	5235.1

## 16. その他の教育内容

独立した科目として授業が行われている科目：

  医史学（必修）、行動科学（必修）、医療福祉学（医療社会福祉学）（必修）、医学外国語（必修）、緩和ケア（必修）、医療経済（必修）、在宅ケア・介護（必修）、プライマリ・ケア（選択）、家庭医学（必修）、臨床医学（必修）

独立した科目として授業が行われていない科目：

  人類遺伝学（臨床遺伝学）、医用（電子）工学、医療安全、医の倫理、医療情報学、高齢医学、人間関係学、医療保険

## 18. MD-PhDコースを設置していない。